



2018年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2017年10月25日
上場取引所 東

上場会社名 クラリオン株式会社
 コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>
 代表者 (役職名) 執行役社長兼COO (氏名) 川端 敦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役経営戦略本部長 (氏名) 平山公之 (TEL) 048-601-3700
 四半期報告書提出予定日 2017年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		調整後営業利益 ※		税引前四半期利益		親会社株主に 帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	90,127	△4.6	3,755	△15.9	3,548	△20.3	2,376	△25.5	3,661	—
2017年3月期第2四半期	94,482	△13.4	4,463	△15.1	4,454	△12.3	3,190	△17.6	△1,097	—

	基本1株当たり親会社株主に 帰属する四半期利益		売上収益 調整後営業利益率	
	円 銭	%	円 銭	%
2018年3月期第2四半期	8.43	4.2		
2017年3月期第2四半期	11.32	4.7		

※ 当社は、親会社の日立製作所を中心とする日立グループ統一の利益指標である「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いています。

「調整後営業利益＝売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により計算しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社株主持分		親会社株主持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	134,928		46,675		46,505		46,505	34.5
2017年3月期	129,413		43,864		43,709		43,709	33.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期の配当につきましては、業績等を考慮して検討いたします。

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		税引前当期利益		親会社株主に 帰属する当期利益		基本1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	200,000	2.6	10,500	△6.6	10,000	△9.0	7,000	△9.4	24.84	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想に関しましては、2017年5月10日の「2017年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、設備投資や輸出の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調にありました。こうした中で、わが国の経済も、円安や輸出の持ち直しなどを受けて、景気は緩やかな回復基調にありました。

当社グループの関連する自動車業界では、自動運転、EV (Electric Vehicle)、コネクテッド、シェアリングを軸とした車社会のモビリティ革命が想定以上に進展しています。このような市場環境のもと当社グループは、車両情報システムソリューションプロバイダーとしての事業運営に向けて、「事業ポートフォリオの変革加速」「グローバル市場でのビジネス拡大」などの戦略を実行することで、将来の成長に向けた確固たる基盤づくりにつとめてまいります。

当第2四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当社グループにおきましては、欧州及びアジア・豪州は増収となりましたが、日本及び米州は減収となり、売上収益は901億27百万円と前年同期比4.6%の減収となりました。

損益面につきましては、固定費及び変動費低減の推進等を継続的に実行したものの、売上減収により調整後営業利益は37億55百万円と前年同期比15.9%の減益となりました。営業利益についても34億93百万円と前年同期比24.1%の減益となりました。税引前四半期利益は35億48百万円と前年同期比20.3%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期利益は23億76百万円と前年同期比25.5%の減益となりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は、営業利益であります。

(日本)

国内ではセーフティアンドインフォメーションシステム関連製品の売上が増加しているものの、既存製品の売上減少が影響し、当セグメントの売上収益は301億52百万円と前年同期比11.3%の減収となりました。損益面につきましては、全社をあげた固定費低減及び原価低減活動を推進しましたが、減収影響を賄うことができず、営業利益は9億49百万円と前年同期比60.4%の減益となりました。

(米州)

米国では自動車販売が前年同期を下回っている市場環境下において、当セグメントの売上収益は412億58百万円と前年同期比3.4%の減収となりました。損益面につきましては、原価率の改善等により、営業利益は13億33百万円と前年同期比18.1%の増益となりました。

(欧州)

欧州では好調な自動車販売を背景にOEM (相手先ブランドによる生産) 製品の売上増とロシアの政策に合致したTCU (通信ユニット) の車両メーカーへの納入が本格化したことにより、当セグメントの売上収益は65億38百万円と前年同期比6.8%の増収となりました。損益面につきましては、販売商品構成変化による原価率悪化等により、1億19百万円の営業損失 (前年同期は10百万円の営業利益) となりました。

(アジア・豪州)

中国では民族系カーメーカー向けの売上増加があり、また、インドネシア等のアジア諸国のOEM市場向け売上増加により、当セグメントの売上収益は121億77百万円と前年同期比4.6%の増収となりました。損益面につきましては、中国での開発費を中心とした費用の増加等により、営業利益は10億78百万円と前年同期比30.9%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりであります。

		第1四半期	第2四半期
当期為替レート	米ドル	約111円	約111円
	ユーロ	約122円	約130円
前期 (参考)	米ドル	約108円	約102円
	ユーロ	約122円	約114円

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産につきましては、総資産が1,349億28百万円であり、前連結会計年度末より55億15百万円増加いたしました。このうち、流動資産は815億35百万円であり、前連結会計年度末より84億19百万円増加いたしました。主に、現金及び現金同等物が64億99百万円増加したことによります。非流動資産は533億93百万円であり、前連結会計年度末より29億4百万円減少いたしました。主に、有形固定資産及び無形資産が21億35百万円減少、保有株式の売却により有価証券及びその他の金融資産が11億73百万円減少しております。

負債につきましては、882億53百万円であり、前連結会計年度末より27億4百万円増加いたしました。

資本につきましては、親会社株主持分が465億5百万円であり、前連結会計年度末より27億95百万円増加いたしました。配当金支払がありましたものの、当期利益及び保有株式売却益の計上により、利益剰余金が21億37百万円増加いたしました。また、その他の包括利益累計額が6億63百万円増加いたしました。この結果、親会社株主持分比率は34.5%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、252億62百万円(前年同期末残高は168億6百万円)となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費等の計上、買入債務の増加等により、97億82百万円の収入(前年同期は99億43百万円の収入)となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得による支出、有価証券及びその他の金融資産の売却による収入等により、22億45百万円の支出(前年同期は51億83百万円の支出)となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により、12億79百万円の支出(前年同期は13億22百万円の支出)となりました。

資金調達の概要

2017年9月にシンジケート方式によりタームローン90億円を再組成いたしました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,763	25,262
売上債権	29,231	29,038
未収入金	1,712	1,351
棚卸資産	20,494	22,168
その他の金融資産	522	976
その他の流動資産	2,391	2,737
流動資産合計	73,116	81,535
非流動資産		
有形固定資産	24,153	23,775
無形資産	24,609	22,851
持分法で会計処理されている投資	1,305	1,297
有価証券及びその他の金融資産	1,998	825
繰延税金資産	3,030	3,377
その他の非流動資産	1,198	1,265
非流動資産合計	56,297	53,393
資産の部合計	129,413	134,928

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	239	265
償還期長期債務	9,663	6,283
買入債務	23,891	27,206
未払金	7,381	7,340
その他の金融負債	185	273
未払費用	9,681	9,061
未払法人所得税	1,458	2,269
引当金	609	663
その他の流動負債	393	703
流動負債合計	53,504	54,068
非流動負債		
長期債務	20,893	24,202
その他の金融負債	1,908	1,604
退職給付に係る負債	8,620	7,782
引当金	401	439
その他の非流動負債	220	154
非流動負債合計	32,044	34,184
負債の部合計	85,548	88,253
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	21,260	23,397
その他の包括利益累計額	2,256	2,920
自己株式	△154	△159
親会社株主持分合計	43,709	46,505
非支配持分	154	170
資本の部合計	43,864	46,675
負債・資本の部合計	129,413	134,928

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	94,482	90,127
売上原価	77,729	74,205
売上総利益	16,752	15,922
販売費及び一般管理費	12,289	12,166
調整後営業利益	4,463	3,755
その他の収益	247	325
その他の費用	105	587
営業利益	4,606	3,493
金融収益	77	171
金融費用	330	150
持分法による投資利益	100	33
税引前四半期利益	4,454	3,548
法人所得税費用	1,258	1,164
四半期利益	3,195	2,383
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	3,190	2,376
非支配持分	5	6
基本1株当たり親会社株主に帰属する 四半期利益：	11.32円	8.43円

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	3,195	2,383
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△54	△89
純損益に組み替えられない項目合計	△54	△89
純損益に組み替えられる可能性がある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,086	1,323
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	7	△5
持分法のその他の包括利益	△159	49
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	△4,238	1,367
その他の包括利益合計	△4,292	1,277
四半期包括利益	△1,097	3,661
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	△1,075	3,646
非支配持分	△21	15

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	14,124	3,366	△148	37,688	166	37,855
変動額							
四半期利益		3,190			3,190	5	3,195
その他の包括利益			△4,266		△4,266	△26	△4,292
四半期包括利益合計		3,190	△4,266		△1,075	△21	△1,097
親会社株主に対する配当金		△845			△845		△845
自己株式の取得				△1	△1		△1
利益剰余金への振替		1	△1		-		-
変動額合計	-	2,346	△4,268	△1	△1,922	△21	△1,944
期末残高	20,346	16,471	△901	△150	35,766	145	35,911

当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	21,260	2,256	△154	43,709	154	43,864
変動額							
四半期利益		2,376			2,376	6	2,383
その他の包括利益			1,269		1,269	8	1,277
四半期包括利益合計		2,376	1,269		3,646	15	3,661
親会社株主に対する配当金		△845			△845		△845
自己株式の取得				△5	△5		△5
利益剰余金への振替		605	△605		-		-
変動額合計	-	2,137	663	△5	2,795	15	2,810
期末残高	20,346	23,397	2,920	△159	46,505	170	46,675

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	3,195	2,383
四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	5,792	5,709
法人所得税費用	1,258	1,164
持分法による投資利益	△100	△33
金融収益及び金融費用	252	△21
固定資産売却等損益	△5	△54
売上債権の増減	1,120	677
棚卸資産の増減	△932	△1,366
買入債務の増減	784	2,865
引当金の増減	△16	80
退職給付に係る負債の増減	△120	△924
その他	215	55
小計	11,444	10,537
利息の受取	47	77
配当金の受取	52	126
利息の支払	△145	△122
法人所得税の支払	△1,456	△836
営業活動に関するキャッシュ・フロー	9,943	9,782
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△1,247	△1,530
無形資産の取得	△3,926	△2,109
有形固定資産の売却	17	234
有価証券及びその他の金融資産の取得	△75	△7
有価証券及びその他の金融資産の売却	22	1,116
その他	26	50
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△5,183	△2,245
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
長期借入債務による調達	—	23,600
長期借入債務の償還	△481	△24,033
配当金の支払	△845	△845
未払配当金の増減	6	4
自己株式の取得	△1	△5
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△1,322	△1,279
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	△955	241
現金及び現金同等物の増減	2,480	6,499
現金及び現金同等物の期首残高	14,326	18,763
現金及び現金同等物の期末残高	16,806	25,262

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	34,012	42,701	6,122	11,645	94,482	—	94,482
セグメント間の売上収益	33,950	1,685	1,541	23,932	61,109	△61,109	—
計	67,962	44,386	7,664	35,578	155,592	△61,109	94,482
調整後営業利益	2,254	1,121	1	1,547	4,925	△461	4,463
セグメント利益	2,398	1,129	10	1,559	5,097	△491	4,606
金融収益	—	—	—	—	—	—	77
金融費用	—	—	—	—	—	—	330
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	100
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	4,454

(注) セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△491百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	30,152	41,258	6,538	12,177	90,127	—	90,127
セグメント間の売上収益	32,289	964	1,940	24,799	59,994	△59,994	—
計	62,442	42,223	8,478	36,977	150,121	△59,994	90,127
調整後営業利益又は損失(△)	1,302	1,321	△157	1,029	3,496	259	3,755
セグメント利益又は損失(△)	949	1,333	△119	1,078	3,243	250	3,493
金融収益	—	—	—	—	—	—	171
金融費用	—	—	—	—	—	—	150
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	33
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	3,548

(注) セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益又は損失の調整額250百万円は全額セグメント間取引消去であります。